

## 令和4年度計画 海洋観測艦 命名・進水式 艦名「あかし」

令和7年5月29日（木）、山口県下関市に所在する三菱造船株式会社江浦工場にて、福田佐世保地方総監執行のもと齋藤海上幕僚長、堀江防衛技監、杉浦長崎防衛支局長をはじめ多くの関係者が見守る中、令和4年度計画海洋観測艦の命名・進水式が執り行われました。

同艦は、齋藤海上幕僚長により「あかし」と命名されたのち、会社側からの進水準備完了の報告を受け支綱が切断され、佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチ、号砲とともに舞う色とりどりの風船のなか進水しました。

艦名は、兵庫県明石市の名所である明石の浦（景勝地）に由来します。旧海軍防護巡洋艦及び工作艦「明石」、海上自衛隊では昭和42年度計画の海洋観測艦「あかし」に続く4代目であり、先代は日本鋼管鶴見造船所（現 ジャパンマリユニテッド株式会社鶴見工場）で建造されています。

長崎防衛支局は、令和8年3月の就役に向け、ぎ装工事及び海上公試等の監督・検査に万全を期してまいります。



齋藤海上幕僚長により「あかし」と命名



齋藤海上幕僚長による支綱切断



海洋観測艦「あかし」進水